

「こおりやま消防安全・安心基本指針」スタート

「郡山地方広域消防組合総合計画」が昨年度をもって10年間の計画期間を終了したことから、引き続き、将来的にも管内住民の安全・安心を確保するため、柔軟かつ的確に対応できる本組合の新たな方向性を示す総合的な計画として「こおりやま消防安全・安心基本指針」がスタートしました。

本指針においては、人口減少をはじめとする将来的に予見できる課題を見据え、早期に対応することで、地域の安全・安心の確保を推進するため、20年後もあらゆる災害・課題に対応できる強固な消防体制を維持できるよう「本組合の目指す将来像」を定め、この将来像を実現するための3つの柱をキーワードに、実効性のある推進事業を進めてまいります。

将来の方向性

本組合の構成市町（郡山市・田村市・三春町・小野町）においても人口減少や高齢化が推測されており、東日本大震災の教訓等を踏まえ、今後危惧される大規模災害などに対応できる自助、共助の育成指導に取り組み、災害に強いまちの実現と多角的な分析と創意工夫による予防消防と予防救急に取り組むなど安心して暮らせるまちの実現を目指します。

また、従来の慣例に捉われない消防行政の在り方を検討し、積極的に行財政改革を推進するとともに複雑化・多様化する災害に対応するため、計画的に消防力の維持向上を図り、災害への強い対応力を備えた信頼される消防となるため、総合的な組織力の向上を将来の方向性としします。

本組合の目指す将来像

「いのちと心を 未来につなげる消防」



この将来像は、管内住民のみなさんと共に、尊いいのちと大切な財産を未来の子供たちへ安心して引き継ぐことができる、安全な暮らしを支える消防を目指しています。

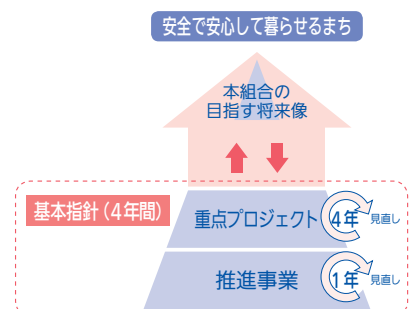
将来像を実現するため、3本の柱（3S）を設け、施策を展開します。

- Safety（セーフティ）…………… **安心して暮らせるまち**
- Strong（ストロング）…………… **あらゆる災害に対応できる消防力**
- Smart（スマート）…………… **最適なマネジメント**

基本指針の特徴

この基本指針は本組合が取り組むべき課題等を抽出し、4年の計画期間で重点的に取り組まなければならない事項である重点プロジェクトと、より具体的な年度ごとの施策を示した推進事業で構成しています。

重点プロジェクトは、4年ごとに見直し、推進事業は、4年間の見直しをもって取り組むこととしますが、社会情勢の変化や施策の効果性などを踏まえて毎年見直すこととします。



Safety (セーフティ) 安心して暮らせるまち



▶ 火災ゼロ対策

火災の発生は減少傾向にありますが、建物火災による死者は、後を絶たない状況です。

火災の原因究明率を上げ、火災の発生傾向から予防策等を効果的に発信するとともに、事業所等における防火・保安体制の強化を図ります。



火災原因調査の様子

● 推進事業

- ・火災原因調査体制の充実強化事業
- ・火災予防対策の推進事業
- ・防火対象物等の安全対策強化事業

▶ 消防法令違反対象物の是正

防火対象物に対し、年間査察計画に基づいた定期的な立入検査を実施することで、消防法令違反対象物の是正を図ります。

また、違反が是正されない場合は、速やかに当該対象物の公表及び違反処理に移行し、防火管理業務の適正化を図ります。



立入検査の様子

● 推進事業

- ・違反処理体制の充実強化事業

▶ 救急車の適正利用

救急車を利用するに及ばないけがや病気の予防に関する情報を効果的に住民へ提供し、救急出動件数の抑制を図ります。

また、応急手当講習の普及により救命率の向上を図ります。



応急手当講習の様子

● 推進事業

- ・予防救急推進事業
- ・応急手当普及啓発活動推進事業

Strong (ストロング) あらゆる災害に対応できる消防力

▶ 現場活動力の強化

複雑化・大規模化する火災や自然災害、さらには2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会などで懸念されるテロ対策など新たな消防需要が求められている中、先進技術を駆使した消防活動や訓練・教育体制の検討を図ります。



NBC対応訓練

● 推進事業

- ・救急業務高度化推進事業
- ・最新技術を活用した消防活動検証事業
- ・消防通信ネットワークと指令体制の充実強化事業

▶ エキスパートの育成

消防隊の強化、指導救命士の養成、予防要員の育成など、各分野における専門的な知識・技術が求められていることから、派遣研修・職場内研修の充実による消防力の維持・強化を図ります。



救急活動訓練

● 推進事業

- ・人材育成・開発事業
- ・予防要員の育成事業
- ・消防活動能力向上事業

▶ 地域防災力の充実強化

大規模災害に備えて、消防団を中核とした地域の総合的な防災力の向上が求められている中、関係機関との役割分担・連携強化により地域防災力の充実強化を図ります。

また、消防団や自主防災組織等の育成に係る指導・訓練機会の充実を図ります。



消防団員による救助訓練

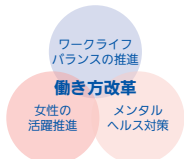
● 推進事業

- ・防災関係機関との連携強化事業

Smart (スマート) 最適なマネジメント

▶ 働き方改革の推進

職員一人ひとりが、仕事にやりがいを感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、事務事業のマネジメントや職員のメンタルケアの充実を図り、魅力ある職場環境を醸成します。



● 推進事業

- ・ワークライフバランス推進事業
- ・メンタルヘルス対策事業

▶ 社会情勢に応じた施設等の管理

消防庁舎の約7割が建築から35年以上を経過していることから、計画的に補修を行い、職場環境の改善を図ります。

また、消防車両についても計画的な更新により消防力を維持します。



消防ポンプ自動車

● 推進事業

- ・施設の長寿命化事業
- ・消防車両の整備管理事業
- ・コストスリム化事業

▶ 将来に向けた組織の検討

将来的に人口減少が予想されている中、住民・地域のニーズを踏まえた費用対効果のある持続可能な組織のあり方を検討します。

また、各業務運営の活性化・効率化を図るため事務事業の見直し・検討を図ります。



● 推進事業

- ・組織カイゼン推進事業

※ 詳しくは郡山地方広域消防組合ウェブサイトをご覧ください

郡山消防

検索

